

令和4年度 ごみ性状調査結果

調査対象工場：大田清掃工場（新工場）

調査機関：ユーロフィン日本環境株式会社

調 査 項 目	年 度 代 表 値 ※1	
ごみ組成 (%) (湿ベース※2)	可燃物	98.73
	紙類	40.14
	繊維	4.53
	厨芥	20.14
	木草	8.02
	プラスチック類等	23.20
	プラスチック類	22.23
	ゴム・皮革	0.97
	その他	2.71
	不燃物	1.27
	金属	0.51
	ガラス	0.27
	石・陶器	0.04
	その他	0.45
	合計	100.00
3成分 (%)	水分	37.61
	可燃分	55.64
	炭素	30.0
	水素	4.33
	窒素	0.54
	酸素	20.61
	可燃性硫黄	0.01
	揮発性塩素	0.15
	灰分	6.76
	合計	100.00
低位発熱量 (kJ/kg) ※3	10,977	
見掛け比重 (kg/L)	0.100	

※1 年度代表値とは、年4回の調査の平均値です。端数調整のため、合計が一致しない場合があります。

※2 湿ベースとは、水分を含んだ状態でごみを分別し、組成分析を行った結果です。

※3 低位発熱量は、ごみ焼却施設各種試験マニュアル(社団法人全国都市清掃会議発行)に準じて測定した実測値です。